

平成24年10月16日
中部地方整備局

中部歴史まちづくりサミットを開催しました

～全国初の開催 認定6市町の首長が一同に集う～

この度、中部地方整備局と高山市の主催により、中部地方整備局管内で歴史的風致維持向上計画の認定を受け、歴史まちづくりに取り組む6市町の首長が一同に集う、全国初の「歴史まちづくりサミット」を開催しました。

サミットでは、「歴史まちづくりに取り組む地方公共団体の連携による地域活性化の展望」と題した名古屋市立大学名誉教授 瀬口哲夫氏による基調講演の後、「歴史まちづくりと地域活性化」をテーマに6市町の首長、中部地方整備局及び瀬口哲夫名誉教授によるパネルディスカッションを行い、更なる連携・協力により歴史まちづくりを推進することを確認する「中部歴史まちづくりサミット共同宣言」を採択しました。

日 時：平成24年10月11日（木） 9：30～12：30

場 所：飛騨高山まちの博物館（岐阜県高山市上一之町75）

出席者：名古屋市立大学名誉教授 瀬口哲夫氏

高山市長、亀山市長、犬山市長、恵那市長、美濃市長、明和町長、
中部地方整備局長、副局長

配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、
三重県政記者クラブ

資 料：別紙「中部歴史まちづくりサミット共同宣言」

解 禁：なし

【問合せ先】

中部地方整備局 建政部 計画管理課 課 長 堀口 岳史
課長補佐 竹内 充

TEL 052-953-8571

中部歴史まちづくりサミットの様子（2012. 10. 11）

（主催者挨拶）



梅山和成 中部地方整備局長



國島芳明 高山市長



（写真左）

「歴史まちづくりに取り組む地方公共団体の連携による地域活性化の展望」と題して、基調講演をする
瀬口哲夫名誉教授

（写真右）

「歴史まちづくりと地域活性化」をテーマに、ディスカッションをする6市町の首長、中部地方整備局副局長及び瀬口哲夫名誉教授



（写真左：中央）

6市町の首長を代表して、「中部歴史まちづくりサミット共同宣言」を読み上げる國島芳明高山市長

（写真右）

今後の歴史まちづくりによる連携・協力を確認した6市町の首長ら

左から、櫻井義之亀山市長、田中志典犬山市長、國島芳明高山市長、渡辺秀樹中部地方整備局副局長、可知義明恵那市長、石川道政美濃市長、中井幸充明和町長



中部歴史まちづくりサミット共同宣言

歴史的文化的資産は、日本国民共有の資産であるとともに、その保存・継承・再生を通じて、我が国固有の文化力の向上、郷土意識の醸成、地域の活性化等に大きく貢献するものです。

私たち五市一町は、歴史的文化的資産を活用した歴史まちづくりが、まちづくりの中で最も重要なテーマの一つであることを認識しつつ、常日頃から地域住民と協働し、歴史的文化的資産という原石を見出し、磨き上げ、積み上げ、歴史まちづくりの礎としてきました。

こうした歴史まちづくりの取組を一層推進するためには、中部地方の内外にわたる広域的な連携・協力関係を築きつつ、各主体が力を合わせ、積極的な情報発信を行っていく必要があります。

本日、ここ魅力ある歴史的文化的資産の溢れる高山において、歴史まちづくりに取り組む自治体の長が集い、歴史まちづくりによる地域活性化の今後の展望について意見を交換することにより、中部地方における優れた歴史まちづくりの取組について全国へ強力に情報発信するとともに、地域の連携・協力が果たす新たな地域活性化の可能性を確認することができました。

私たちは、今後、中部地方にとどまらない、周辺地域を含めた更なる連携・協力により、歴史まちづくりの取組を拡がりをもって推進し、それぞれの地域を活性化することはもちろんのこと、全国における歴史まちづくりの旗振り役となり、我が国の豊かで魅力あるまちづくりをリードしていくことを、ここに宣言します。

平成 24 年 10 月 11 日

中部歴史まちづくりサミット参加者一同
(高山市、亀山市、犬山市、
恵那市、美濃市、明和町)